

峰山高校野球部通信

No. 4 2012.5.20

発行/京都府立峰山高等学校野球部保護者会



遅咲きの桜が満開の中
春季大会が開催されました。

練習試合結果

- 選抜出場の鳥羽高校とも対戦しました
- 3月18日(日) 高島 G
 - ① 峰山 3-2 高島
 - ② 峰山 12-2 長良
 - 3月20日(祝) 峰山 G
 - ① 峰山 8-4 大谷
 - ② 峰山 0-1 大谷
 - 3月22日(木) 甲南 G
 - ① 峰山 1-6 甲南
 - ② 峰山 6-13 甲南
 - 3月27日(火) 舞鶴球場
 - ① 峰山 9-2 舞鶴高専
 - ② 峰山 11-3 舞鶴高専
 - 3月28日(水) 峰山 G
 - ① 峰山 8-2 園部
 - ② 峰山 13-7 園部
 - 3月29日(木) 峰山球場
 - ① 峰山 1-5 鳥羽
 - ② 峰山 8-15 鳥羽
 - 4月7日(土) 峰山 G
 - ① 綾部 1-1 綾部
 - ② 綾部 5-4 綾部
 - 3月8日(日) 峰山 G
 - ① 峰山 10-1 網野
 - ② 京都すばる 3-6 京都すばる
 - 4月30日(月) こうのとりのり
 - ① 峰山 10-3 出石
 - ② 峰山 5-3 水上
 - 5月5日(祝) 峰山 G
 - ① 峰山 7-5 三田西陵
 - ② 峰山 4-5 宮津
 - 5月12日(土) 峰山球場
 - ① 峰山 10-4 向陽
 - ② 峰山 8-0 向陽
 - 5月13日(日) 滝川二 G
 - ① 峰山 6-12 滝川二
 - ② 峰山 1-7 滝川二
 - ③ 峰山 1-3 滝川二



阪高監督の母校峰山高校は郡山球場の二の丸にあり、グラウンドはお堀を渡った対岸にありましたが、最近はお堀のため中止でした。

雨天中止
須崎守備
郡山・輪島
福崎
西舞鶴・須知
比叡山・日野
豊岡総合

一回戦(4月15日) ■ 峰山6-1 久美浜

二回戦(4月28日) ■ 峰山0-4 日星



今春、宮津高校へ転任された泉禎之前部長にメッセージをいただきました。

Message

峰山高校野球部員のみなさん

お久しぶりです。来るべき夏の選手権予選に向けて熱のこもった練習を重ねていることと思います。さて私の方めは言いますと、転任先では男子バレーボール部の顧問を務めることになりました。小学4年生から昨年までの22年間野球に携わってきましたので、もとよりバレーボール経験は無いに等しいわけですが、自らの仕事に責任感と使命感を持って働きたいと思っています。自分の置かれた環境に対して、不平や不満を口にすることは簡単です。でもその中から自分に与えられた使命を見だし、それを専一に磨いていけるかどうかは、自分次第です。みなさん、逆境においても力強く働き、聽することなく自分の成長とチームの発展の為に精一杯力を注いでください。二度とは来ない青春の、その多くの時間を割いて、情熱を注いだ野球部での活動に誇りを持ってください。一日一日、いや一球一球を大切に、最後に、郡山高校森本総監督もおっしゃっておられますが、「教養はからいです。野球を中心に勉強しつつ、野球ばかりならず、野球から自分の人生の糧を得ることができると信じて、偽りなく真々直々に部活動に励んでください。みんなの活躍を心から期待しています。

峰山高校野球部保護者会のみなさま

この度お別れの挨拶もなく転任しましたことに、大変苦しさを感じております。府立高校の教員さだめだとは思っておりますが、やはりやりきれない思いが強くあります。7年間野球部の顧問としてお仕事をさせていただき、痛感しているのは、保護者の皆様のご支援がなければ、野球部の活動は成立しないということだと思います。一方で、教育に携わる指導者として、どの程度保護者の皆様方の想いを尊重すべきなのかという点に悩んではいることと少しあります。共通する思いは「部員を、生徒を伸ばすということ」だと思います。この観点を忘れず、こちらが安易に答えを差し出すのではなく、ヒントを与え、気づきを促し、成長を見守る姿勢を貫いてきたつもりです。いたるめ点が多々あったと思いますが、どうぞお許しください。これまでも保護者会の皆様のご理解・ご支援に感謝申し上げますとともに、今後の峰山高校野球部のますますの発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

元峰山高校野球部顧問 泉 禎之

新入部員紹介

目指すポジション、出身中学校、目標を聞きました。



今田 恭平 投手
峰山中学校

良いムードで試合が進められるようになるために、練習から緊張感を持って毎日頑張りたいです。



嶋田 拓真 捕手
峰山中学校

一日でも早くレギュラーになれるように頑張りたいです。野球部の一員だということを常に頭においた行動を心がけたいです。



大門 昇 外野手・サード
江幡中学校

一日でも早くレギュラーになり、甲子園に出場したいです。



仲原 悠史 ショート
高龍中学校

チームとして目指す所は甲子園だと思うので、チームの一員として何ができるか考え頑張っていきます。



西田 龍之介
ショート・センター 加悦中学校

自分は、走、攻、守、全てが揃った最高の選手になりたいです。そのために日々の練習をしっかりと取り組み、自分に厳しくしたいと思います。



松本 渉 投手
桐野中学校

チームが全国制覇できるよう全力で頑張る。頼られる選手になる。



室野 克 セカンド
桐野中学校

自分の目標のために毎日一生懸命頑張りたいです。野球のための生活を、自分に負けず日々向上していきたいです。できるだけ早く試合に出て力をつけたいです。



森 琢海 サード
弥栄中学校

一つ一つの事を大切に、毎日の練習や試合に取り組みたいです。チームとしての目標は甲子園だと思うので、少しでもチームのためにできる事を考えて、頑張りたいです。



山本 一貴 ファースト
峰山中学校

けがをしないようにして、体づくりをしっかりと。練習には全て参加する。



一年生12名が入部し、全38名が一丸となって夏の大会に挑みます!



新入部員紹介

出身中学校、マネージャーを志した理由、目標を聞きました。



今西 由佳 峰山中学校

友達が誘ってくれて興味を持ったのがきっかけで、姉から前のマネージャーさんの話を聞いて、自分も部員さんと一緒に成長できるような高校生活にしたいと思い志望しました。これからの目標は、部員さんの変化・気持ちに「気付けるマネージャ」常に元気に「動けるマネージャ」です。よろしくお願いします。



荻野 葵 峰山中学校

マネージャーを志した理由は、お兄ちゃんが野球をしていて小さい頃から野球が好きだからです。それと中学までバレーをしていたので、次は頑張っている人を支えて役にたちたいと思ったからです。選手に頼られるマネージャーになれるよう、頑張っています。



倉橋 里奈 江幡中学校

甲子園に行きたいと思いマネージャーを志望しました。まだまだ気付けなことはたくさんありますが、これから一生懸命頑張ります。選手を支え、頼られるようになります。

編集後記

春季大会も終わり3年生は夏の大会を残すのみとなりました。チームは一年生を迎え活気が溢れ、しかもマネージャーさんが3人も入ってくれたので華やかにもなり、一年生の節目となる「夏」を目前に練習にも一層力が入っていることと思います。そんな子どもたちの練習試合を見ながら母たちは口々に「あとちょっとだねええ。あつと言う間だつたわ〜」と一抹の寂しさを皆で分かち合っています。



昨日までの自分を超える

今春のベストショットでわが家でこんなバネルを作りました。この言葉はホンドのコミーシャルから拝借しています。今の皆に心に留めてほしいキャッチフレーズだと思っています。YouTubeのホنداで検索「負けるものか」というコミーシャルです。グッときます。